



神戸市外国語大学 (兵庫県)



国際都市神戸から。人と文化と世界をつなぐ

■大学紹介

① 大学の特色および概要

神戸市外国語大学では外国語及び国際文化を学び、研究しています。学部には英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科、国際関係学科の5つの学科を擁しています。学生は、教養科目と外国語及び国際文化を学びます。授業では、国際的視野を広げるとともに、複数の言語で自らの意見を効果的に伝える方法や現代社会で必要とされる実践的なスキルを身につけます。また、修士課程及び博士課程で研究を続けることも可能です。公立大学として、文化・教育の面で、地域社会・産業の発展に貢献することも、大きな役割です。自らの成長と学びを求めるすべての学生に、神戸市外国語大学の門戸は開かれています。

教員数及び学生数 (2016年5月時点)

学生数	学部生	2,168
	院生	122
教員数		89



② 国際交流の実績

交流協定数：39

協定相手国（地域）数：12

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2016年：留学生数93人、日本語・日本文化研修留学生1人

2015年：留学生数82人、日本語・日本文化研修留学生1人

2014年：留学生数75人、日本語・日本文化研修留学生1人

④ 地域の特色

神戸は人口154万人ほどの日本有数の大都市です。

外国人住民が多いことや外国人コミュニティによって形作られてきた文化によって、国際色豊かな都市としてよく知られています。

山と海に囲まれ自然が豊かです。また同時に、京都や大阪、奈良などの有名な都市へのアクセスも良好です。これら多くの歴史的名所に、日帰りで行くことができます。



■コースの概要

① 研修目的

(b)日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

日本語を集中的に学びたい学生を歓迎しています。本学では学生一人一人の能力を最大限発揮できるよう、きめ細やかな指導で学習しやすい環境づくりに尽力しています。

日本語の授業は、初級後期、中級前期、中級後期の3コース編成で、基本的に日本語によって行います。聴解、読解、作文、会話の4技能のクラスのほかに漢字や日本事情のクラスがあります。

日本事情の授業は、日本社会や文化についての講義、書道や茶道などを含む日本文化の体験、学生によるプレゼンテーションなどで構成されています。

神戸市外国語大学の学生が留学生パートナーとして、留学生の日常生活やキャンパスライフのサポートを行います。

③ 受入定員

2名（大使館推薦2名、大学推薦0名）



④ 受講希望者の資格、条件等

- ✓ 海外の正規学部生であること
- ✓ 英語能力がCEFR B1, IELTS 4.5, TOEFL iBT 60 と同等以上であること
- ✓ 日本語能力が、日本語能力試験のN4からN2を目指すレベルであること。

<初級後期コース>

- ・ 日本語をおおむね150時間以上学習し、基本的な初級前期の文法や語彙を習得していること
- ・ 「みんなの日本語初級I」や「げんきI」などの初級前期の教科書での学習を終えていること

<中級前期コース>

- ・ 日本語を少なくともおおむね300時間以上学習し、初級後期の文法や語彙を習得していること
- ・ 「みんなの日本語初級II」や「げんきII」などの初級後期の教科書での学習を終えていること

<中級後期コース>

- ・ 日本語を少なくともおおむね500時間以上学習し、中級前期の文法や語彙を習得していること
- ・ 「みんなの日本語中級I」などの中級前期の教科書での学習を終えていること

⑤ 達成目標

<初級後期コース>

日本語能力試験 (JLPT) N4レベル

<中級前期コース>

日本語能力試験 (JLPT) N3レベル

<中級後期コース>

日本語能力試験 (JLPT) N2レベル

⑥ 研修期間

2017年9月14日 ~ 2018年8月10日
修了式は8月を予定 (2016年は8月)
※2017年9月12日が指定住居入居日です。

⑦ 研修科目の概要

- ・ 受講する科目は来日後に行うプレイスメントテストの結果で決定します。聴解、読解、作文、会話の4技能のクラスのほかに漢字や日本事情のクラスがあります。
- ・ 授業は90分で、基本的には8科目の日本語の授業を受講することになっています。
- ・ 授業時間数は、ひとつの授業につき、予習・復習の30分を含めた2時間で計算します。15週授業があるので、1学期で1つの授業につき30時間が授業時間数になります。

1) 必須科目 (日本語・日本事情科目) (240時間 / 学期)

<初級後期コース>

日本語初級「第1」～「第3」、日本語演習「第1」～「第6」、日本語漢字、日本語特殊演習、日本事情から8科目

<中級前期及び後期コース>

日本語中級「第1」～「第10」、日本語上級「第1」、「第2」、日本語演習「第1」～「第6」、日本語漢字、日本語特殊演習、日本事情から8科目

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本の文化・歴史についての理解を深めるために、おもに周辺の名所などへのフィールドトリップを学期に数回実施しています。

3) その他の講義、選択科目等 (30時間×履修科目数/学期)

留学生は、正規学部生向け科目を受講可能です。英米学科、ロシア学科、中国学科、国際関係学科の5学科の授業を、日本人学生と一緒に履修することができます。分野は諸地域の言語、言語学、文学、文化、史学、法学、商業、経済学、教育、心理学など幅広い分野に渡ります。

⑧ 年間行事

- 9月 秋学期開講式
オリエンテーション
日本語プレイスメントテスト
- 10月～1月 フィールドトリップ
- 2月 期末テスト
秋学期閉講式
春休み開始
- 4月 春学期開講式
- 4月～7月 フィールドトリップ
- 7月 期末テスト
- 8月 春学期閉講式



⑨ 指導体制

日本語プログラムを運営するコーディネーター兼日本語講師1名と日本語非常勤講師3名の計4名の教員で日本語の授業を担当しています。

留学生教育プログラム部長：

中井幸比古教授

(国際交流センター副センター長、専門：日本語学)

留学生受入れプログラムコーディネーター兼講師：

勝田千絵

⑩ コースの修了要件

履修した日本語科目に合格することを修了要件とする。



■ 宿 舎

大学からバスで約6分のところに、家具・インターネット付きのアパートがあります。

初期費用：10,000円

秋学期：270,000円

春学期：225,000円

※消費税の改定などにより、変更となる可能性があります。



■ 修了生へのフォローアップ

・各科目の内容説明文書、授業時間数に関する文書、成績証明書を発行し、本学での履修科目が、留学生の在籍大学における適当な科目の単位として認定されるよう支援します。

・修了生にはFacebookやメール、ホームページを通じて情報を発信することにより、日本や神戸市外国語大学への再留学を支援します。



■ 問合せ先

(担当部署)

神戸市外国語大学国際交流センター

住所 〒651-2187

兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

TEL +81-78-794-8171 (直通)

FAX +81-78-794-8178

E-mail

international-office@office.kobe-cufs.ac.jp

神戸市外国語大学国際交流センター

ホームページ

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/index.html>

神戸市外国語大学ホームページ

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/index.html>

日研生対象プログラムホームページ

http://www.kobe-cufs.ac.jp/international/center/japanese_language_program.html

